

## アジア政経学会 2013年度 第5回理事会 議事録

1. 日時 2013年7月28日(日) 15:30~17:30
2. 会場 慶應義塾大学(三田キャンパス) 南館4階会議室
3. 理事・監事総数 25名 (理事23名、監事2名)
4. 出席者 19名(理事17名:磯崎、大橋、金子、加茂、川島、巖、小嶋、澤田、清水、園田、高原、竹中、田村、永井、丸川、山田、山本、監事2名:佐藤、滝口)
5. 議長 竹中理事長

### 6. 議事

(ア) 定刻15時30分に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から本日の欠席者6名、総出席者19名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録書名人として、山本信人氏、川島氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2013年6月15日)の理事会議事録の確認をおこなった。文尾は揃えることとなった。

### 理事長挨拶

#### 議案1 理事の追加選定について

金子芳樹前理事長より本件の背景が説明された。第4回理事会から評議員会に23名推薦し承認されたが、南アジア専門の理事が少ないとの指摘を受け、理事追加選任が必要となったこと、またその選定については本来評議会がおこなうところ、理事会に決定を一任する旨が議決された。それを受け、今回理事長から一名の理事の追加がおこなわれることになった、とのことである。次いで竹中理事長より、資料「理事長候補者に関する推薦書」に基づいて、中溝和弥会員が推薦され、審議の上、満場一致にて承認された。

#### 議案2 今期の学会方針と業務担当

竹中理事長より、60周年から62周年へのバトンタッチを、学会の先達の精神を継承しながらおこなうこと、また高原明生、金子両理事長時代からの懸案であった法人化が実現され、公益性のある法人として研究、交流活動を実施する任務を果たしていくよう努力すること、が説明された。また、この法人化に関して、高橋伸夫、澤田ゆかり、田村慶子諸会員、山本前総務、総務・財務補佐の佐和田成美氏に対する謝辞が述べられた。また、評議員会の下で学会の運営をおこなうのが理事会であること、監事は理事会を監督すること、そして次回の全国大会で評議員が開催され、そこで諸決定がなされることが説明された。

次いで、資料2「アジア政経学会 2013-2015 年 期 役 割 分 担」に基づいて役割が説明された。今期の体制は、各理事がそれぞれ何かしらの役職を負い、全員で力を合わせて学会を運営するという方針が示された。具体的には、丸川知雄副理事長には、学会のホームページと『アジア研究』のインターネット上での公開について、広報担当の梶谷懐、加茂具樹両理事とも協力しながら、従来の業務委託先との関係を考慮しつつも、新たに外部資金を取得するなどの打開策を検討してもらいたいという方針が説明された。丸川副理事長には、地域研究学会連絡協議会(JCASA)に学

会の代表として参加していただく予定である。また、高原、金子両理事には新法人として必要な業務や 60 周年を迎えた学会としての新企画について検討していただくこと、澤田理事には法人としての財務の引き継ぎを担っていただくこと、田村理事には他学会などとのコラボレーションや学会の倫理規定の作成など新しい課題を担っていただくということが特に説明された。以下、各役職の担当者が紹介され、それぞれ課題が説明された。国際交流については、園田茂人理事が平岩俊司、永井史男の両理事とともに担当するが、大会時の国際シンポジウムのみならず、他の機会に国際シンポジウムを開催するなど多様な形での交流を展開してほしいと依頼された。編集担当である山本、松田康博両理事には、大変難しい作業ではあるが、『アジア研究』の刊行年を実態に即した形で刊行できるようご尽力いただきたいとの意向が理事長より要請された。その他の役割を担う方々についても、従来業務を適切にこなすとともに、より活発なアジア研究の場を作るために、積極的に新しいアイデアを提起して挑戦してほしいという期待が述べられた。

今後の理事会に関しては、従来のような委任状は認められないところ、なるべく多くの理事に参加していただけるよう、理事長から要請があった。

なお、総務補佐として杉浦康之会員、また理事長補佐として倉田徹会員が当たることが提案され、承認された。財務および編集の補佐については検討中である。

### 議案 3 東日本大会（早稲田大学）の準備状況について

山田満理事より、資料 3「2013 年アジア政経学会東日本大会（早稲田大学）準備状況（NO.2）」に基づいて報告がなされた。大会はアジア研究機構の共催で実施される。共通論題としては「中国の外交と近隣諸国」が準備されている。また、会場については一部未定な部分があること、託児所については早大が使用している託児所に相談していること、懇親会については 70 名で大隈ガーデンハウスから見積もりを得ていることなどが説明された。なお、共通論題に関しては、社会的な関心も高いので一般公開を行うとともに、希望者には懇親会への参加も認める可能性について検討することとなった。

丸川副理事長より、現段階では自由論題の応募状況が必ずしもよくないので、改めて募集を呼びかけるとの報告があった。

### 議案 4 西日本大会（大阪市立大学）の準備状況について

永井理事より、資料 4「2013 年アジア政経学会西日本大会（大阪市立大学）準備状況（その③）」に基づいて報告がなされた。会場については、全学共通教育棟、学術情報総合センター、懇親会は同センターで準備していること、託児所は学内のものを利用することが報告された。大阪市立大学学長裁量経費（競争資金）の助成を受けて 60 周年企画を実施し、オーストラリア国立大学教授で元オーストラリア・アジア学会会長テッサ・モーリス・スズキ教授を招聘すること、招聘経費（韓国一大阪）は上記経費で充当できること、テッサ氏の学内向け講演を前日に開催して会員にも参加を呼びかけることなどが報告された。目下のところ、司会、懇親会実施方法などは検討事項である。自由論題については梶谷理事が担当しており、相談の上、進めていくことになっている。

#### 議案5 法務局への役員変更届について

川島理事より、法人化にともなって、千代田区法務局に理事登録をおこなう必要があるので、各理事に協力が求められた。なお、これに関連し、澤田理事より、登記が完了しないと法人代表の変更の届が出せない事情があること、また法務局からの登記書を添付して内閣府に理事長・理事の変更の報告する必要があるので、速やかに登録変更をおこなう必要がある旨、報告された。

#### 議案6 会員名簿作成について

山本理事より、本学会ではこれまでは奇数年の会費請求がおこなわれる秋に名簿を発行していたところ、竹中理事長から法人化移行という事情があるので、今年度は発行を見送り、翌年度に作成し発行することが提案され、承認された。

#### 議案7 会費請求について

澤田理事より、7月10日に会費請求を会員に送付したこと、連絡先不明者について探索をすすめること、などが説明された。また、ホームページにゆうちょ銀行の会費振り込み先が掲載されるようになったので、手数料はかかるが、便利度が増したことが報告された。これらの変更については学会ウェブサイトのFAQに掲載されている。

#### 議案8 国際交流について

竹中理事長より、6月20-21日に開催されたドイツ・アジア学会の全国大会（日独ベルリンセンター共催）に竹中理事長と山本理事が参加し、アジア諸国における政治的なリーダーシップについての特別セッション（英語）で報告、議論をおこなったこと、そのほかの場でも多くの交流をおこなったこと、また今後の交流の可能性が報告された。

丸川副理事長より、11月上旬の韓国のAsia Economic Community Forumとの交流事業については、丸川副理事長、梶谷理事、星野会員が参加し、アジア政経学会として中国経済に焦点を置いたセッションを企画し開催することが報告された。

#### 議案9 地域研究学会連絡協議会（JCASA）事務局について

竹中理事長より、副理事長が参加することになっているJCASAという組織の状況、またこの二年間はアジア政経学会が事務局を担当してきたこと（2013年12月で終了）、年に一度NLを刊行したこと、などが報告された。

#### 議案10 『アジア研究』について

園田理事より、次号の初稿は、委託先の中西印刷より7月23日に出されてきたものの、当初の予定よりやや時間がかかったことが報告された。また、編集委員会の立ち上げには一定の時間を要したこと、今後は投稿に依存せず、特集を重視した編集方針をくむことが大切では無いかとの問題提起がなされた。また、書評の状況が三重野理事の準備した「『アジア研究』書評作業進行表」に基づいて説明された。

なお、山本理事から特集号の規模、また印刷される発行年と実際の発行年を合わせるには合併号

を編集する可能性があること、東日本、西日本大会についても、共通論題などをもとに特集を組むことを検討していく必要性が指摘された。これらについては、担当者で検討していくこととなった。

#### 議案 1 1 HP について

田村理事より、この度行った英語ページ作成に関して、業務委託先より請求額が出されたが現在内容の精査を行っている旨の報告がなされ、今後の業務委託については再検討が必要かもしれないという意見が述べられた。また、広報の記事として、2013-2015 年学会組織および新理事長の挨拶などの原稿が、梶谷理事から依頼される予定であると報告された。

竹中理事長より、現在の業者との関係は天児理事長時代にはじまり、国分理事長時代に業者との問題が一度整理されたものの、現今の状況に鑑み、コストベネフィット、より良いサービスの提供といった観点から、改めて業務委託のあり方を検討するとの方針が示された。

#### 議案 1 2 ニュースレターの編集について

小嶋理事より、新体制、新理事長挨拶が掲載される次号は 9 月中旬には刊行したいこと、定例研究会の今後の予定についても掲載する予定があること、東日本大会、西日本大会についても、案内原稿が必要なこと、さらに今号まで小嶋理事が担当すること、が報告された。

このほか会費納入報告の変更、国際交流の報告についても掲載すべきとの意見があり、掲載することとなった。

#### 議案 1 3 入退会者について

川島理事より、回覧資料に基づいて、入会申請者 6 名、復会申請者 2 名、再入会申請者なし、退会者 6 名、休会申請者なし、逝去なし、優待申請者 2 名について報告され、承認された。

〈入会者〉野澤康二、趙従勝、寺田孝晃、加納敦子、謝志海、  
李春霞（推薦者のいま一名は川島総務理事がおこなう）

〈復会者〉李恩民、太田浩

〈再入会者〉なし

〈休会者〉なし

〈退会者〉韓美蘭、高梨和紘、石川明美、美野久志、岡田臣弘、木村光彦

〈逝去者〉なし

〈優待申請者〉呉青姫、吉川洋子

#### ◆ その他

##### 理事会開催日程

第 6 回理事会は 9 月 11 日（水）17:00-19:00 に立教大学、第 7 回理事会は 10 月 12 日（土）に早稲田大学、第 8 回は 12 月 21 日（土）に立教大学でそれぞれ開催予定。

以 上